

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公

公表： 2024年 3月 15日

事業所名 Woody放課後等デイサービス 1

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	子どもたちが安全に楽しく過ごせる様、活動する部屋を分ける等の配慮をしています。	法令に則ったスペースを確保しています。イベント等によっては人数が多くなるので、活動する部屋を分けて対応をしています。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0	配置数が適切になる様、勤務状況に応じて考え配置しています。	適切な配置を行うようにしていますが、送迎等で職員が少なくなる場合もあるので、送迎ルートや配車の工夫をする等して対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	0	その日の利用状況を職員全員が把握し、個々に応じた配慮をしています。	未回答 1 車いすの子どもが2階に行く時階段を使わなければならない為必ず職員が付き、危険が無い様十分注意を払って対応します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	0	日頃の支援の振り返りをし、改善に繋がる様話し合いの場を設けています。	定期的なミーティングの機会意外にも話し合いの場を設け、情報共有を密にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	定期的に実施して業務改善に繋がっています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0	結果はホームページにて公開をしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	2	第三者による外部評価は行っていません。	現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	積極的に研修を受ける機会を設けています。	今後も内部研修の実施・外部研修受講の機会を積極的に設け、職員の資質向上に繋がっていきます。
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	利用に際し、子どもの状況・課題・保護者のニーズ等を把握し、それをもとに計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1		アセスメントは行っておりますがツールを上手く活用できていない為、今後の課題として職員間で協議します。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	子どもたちが楽しみながら様々な体験が出来るように職員で考え活動プログラムを作っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	プログラムが固定化しないよう、様々な活動体験を取り入れて工夫をしています。	今後も様々な活動を通じて、子どもたちが充実した放課後を過ごせる様、活動内容を工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1	平日・休日・長期休暇に応じて活動プログラムを変えて支援を行っています。	特に休日・長期休暇においては、平日には取り組む事が難しい外出活動やクッキングレク等に積極的に取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	子どもの状況に応じた放課後等デイサービス計画を作成しています。	未回答 1
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	1	毎朝必ず打ち合わせをして情報共有をしてから支援をしています。	その日の職員で子どもたちの状況を必ず話し合い、必要な支援の内容・職員の役割分担を正確に把握してから支援に入っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	0	その日の気づき等を職員同士で出し合い、次の支援に繋げていけるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	0	業務日誌やケース記録に日々気づいた点や変化した状況などを記録し、振り返りを行っています。	職員間の情報共有が上手くできていない場合もある為、業務日誌等に必ず目を通し、状況把握の徹底をする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的なモニタリングを実施し、保護者と児童の現状把握・振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	概ね6カ月に1度、児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0	アセスメントをもとに、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定し、計画を作成しています。	改めて職員でガイドラインを見直す等して、よりよい支援に繋げていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6	0	0	会議には必ず児童 発達支援管理責任 者が参加するよう にしています。	状況によっては児発管が参加出来ない場合 もある為、その際は事前に打ち合わせをし て日頃支援に入っている状況に精通した職 員が代わりに参加するようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	0	学校及び関係機関 との連携強化を 行っています。	主に普通学校との情報共有が会議中心と なっている為連携にまだ不十分な点も多い ので、今まで以上に連携を取っていきける様 工夫をしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	3	0	2		未回答 1 現在医療的ケアが必要な児童は通所してい ません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 こども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めている	3	3	0	必要に応じて情報 共有と相互理解を しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	4	2	0	必要に応じて通所 していた際の支援 内容等の情報を提 供し、スムーズに 移行できる様努め ています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	3	2	1	助言をして頂いた 事を業務改善に繋 げています。	必要な研修に積極的に参加をし、一層の連 携を図りながらより充実した支援ができる ように取り組んでいきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	1	4		今後必要に応じて交流する機会を設けま す。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	3	3	0		必要に応じて参加を検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	5	1	0	送迎時に保護者と お会いした際、そ の日の様子や気付 き等をお伝えする ようにしていま す。	送迎時お会いできなかったり、伝える事が 出来なかった場合は別途お電話等でお伝え するようにしています。また、会議等で子 どもの状況や支援内容を詳しく伝えていき ます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている	2	2	2		現状保護者に対して実践が出来ていない 為、今後の実施に向けて取り組んでいま す。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	4	2	0	契約時に丁寧にご 説明することを心 がけています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	1	その都度保護者とお話して、悩み等に対する相談に適切に対応しています。	適切な対応を心がけ、それを支援にもつなげていける様取り組んでいます。その場に対応できない際は一旦話を持ち帰り、後日対応出来る様にしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0	保護者会を開催し、保護者同士の情報共有・連携が出来る場を設けています。	今後も定期的に保護者同士が情報を共有し、連携を取っていける様に保護者会等を開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情や申し入れに対しては迅速かつ適切に対応をする様心がけています。	苦情等あった場合社内でも共有し再発防止につなげます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	1	会報の発行はしていません。	会報の発行は予定していませんが、活動概要や行事予定をお知らせするようにしています。連絡事項等はその都度保護者へお知らせするようにしています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。	未回答1 個人情報の取り扱いについては十分注意すると共に、取り扱いに際してはその都度その目的や内容等について保護者に確認をして了承を得た上で関係機関と連携をしております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	職員間で情報を共有し、状況に応じて対応をしています。	今後も子どもや保護者に合わせ伝達方法を変える等の工夫をしたり、伝わる方法を考え実行していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	2	保護者参加の行事の際、近隣施設の方を招待する等しています。	今後も地域の中の事業所として可能な形で開かれた事業運営に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2	各マニュアルを策定し、職員全員が周知出来るようにしています。	保護者にむけてマニュアル等の情報の周知を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に非常災害を想定した避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	積極的に職員の研修機会を設け適切な対応をしています。	今後も積極的に外部の研修に職員が参加をしたり、内部研修を行います。

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	1		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としています。行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合には組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	1	保護者からの聞き取りを行い、その情報を職員間で共有をしています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0	ヒヤリハットの報告書を作成し、月1の職員会議で情報を共有しています。	今後も職員間での情報共有を徹底していきます。